

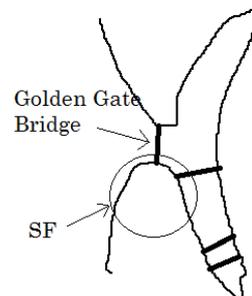
6 月度木曜例会 (June 4, 2015)

今日は、私達の頼もしいレギュラスピーカーMatt さん、Mr. Mathew Allen Sawyer-Long (USA)、です。今日で8回目のスピーチとなりますが、Matt さんが自分の故郷について話すのは初めて。サンフランシスコに生まれ育って 20 数年、話したいことが、くもの巣を張り巡らすように次から次へと浮かんで来て…準備が大変だったようです。タイトルは Pseudonyms of San Francisco。



★まず、サンフランシスコのイメージから大阪から飛行機で約 11 時間のカリフォルニア州は、面積にすると日本と同じくらい。でも日本とは気候も文化も全く異なる。州の 30%は砂漠で暑い。海岸地域の降雪はゼロ。巨大な山脈が縦断し、米の他地域と隔離されているよう。暑くて乾燥、豊富なグレープやオリーブ、ナッツ…を考えると、イタリアやスペインのイメージ。

サンフランシスコは一辺 5km 程の正方形の土地。充分歩ける程小さいが、あちこち丘だらけ。元々は Ramaytush と呼ばれていた。その後スペイン人が渡来、各地で伝道のため教会の建設を始めた。サンフランシスコは重要な港で、特別な場所。名前は修道士、聖フランシスコに由来。



1848 年、米墨戦争で米が勝利するまで、カリフォルニアはスペイン人、メキシコの統治下にあった。



1849 年～ゴールドラッシュ。人口は急増。海外から多くの人、特に中国人が殺到した。サンフランシスコのチャイナタウンは、中国外で最大だとか。今でも中国ではサンフランシスコのことを Gam Sann (金山) と呼ぶ。

あまりにも多くの中国人が渡来したため、anti-Chinese-law もできた。だが中国人は鉄道敷設に従事、クリーニング店や浴場を開始。そして、Levi's はポケット部分にボタンをつけ、丈夫なジーンズを生み出した：Levi's jeans は普通の Blue jeans とは違う！

★Major problems

No space: 土地が足りないので、湾を埋め立てた。ごみや船舶まで埋めている！

No graveyard: 土地は貴重なので、墓地は南部の Colma に移した。



★Alfred Hitchcock loves San Francisco.

“めまい” “鳥” 等、サンフランシスコが舞台の映画は多い。彼はゴールドラッシュ時代から近代サンフランシスコへの移行を象徴した存在。サンフランシスコが観光客に人気があるのも彼のお陰では？

ニューヨークやロサンゼルスとライバル視するサンフランシスコだが、週末は70万人の人口が、平日はビジネスマンや観光客で120万人規模になる。歴史も浅く、狭い都市なのに何故そんなに人気がある？サンフランシスコは、“mysterious、romantic、beautiful”なイメージを持つ。

カリフォルニアのイメージは；relaxed、a little bit wealthy、beautiful weather (winter never comes!)、good education、business、movie studios、well/warmly dressed (半袖を着るのは観光客のみ。アラスカから吹き降ろす風は冷たい。hot in the sun, cold in the shade)

★Fog Town

サンフランシスコは霧で有名：これも mysterious なイメージ。午前中は霧がかかることが多いが、午後近くになると晴れ始める。でも、何故“city”ではなく“town”と呼ぶのか？<写真右：霧のかかった金門橋。なぜ赤色？金にするお金がなかった!?!>



★China Town

観光名所。表通りではなく、裏道に入った方が美味しいのでは？地元の人は fork test をする。お店に入って、テーブルにフォークがあれば、それは観光客向けのレストラン（即ち、質が劣る）、ということ。因みに、私の大好きなレストランもチャイナタウンにある。でも、ベトナム料理のお店。スープが絶品！私は帰国すると必ず行く。

★Japan Town

大阪はサンフランシスコの最初の姉妹都市。パゴダ、寺、紀伊国屋、回転寿司、歌舞伎劇場（本当に歌舞伎をしているのか??）等、色々ある。リトル大阪と言われているが、私にとっては、海と坂の多い神戸の方がサンフランシスコのイメージに近い。

その他多くの観光名所がある。north beach は私のお薦め。Italian town、Korean town 等、エスニックに富んだ街。バスに乗っていると、少なくとも数ヶ国語が聞こえる。英語だ

けでなく、スペイン語、中国語、ドイツ語、韓国語…。標識も英語・スペイン語・中国語で書かれている。市役所でもこれらの言語は通じる。でも、日本語は無理かな。

★サンフランシスコの別名

The City by the Bay: 観光客にとっての beautiful、romantic なイメージ。だが、私は使ったことがない。茨木なら、City between Osaka and Kyoto とでも言うところか？

The City: 地元ではよく言う。”Oh, Mom, I went to the City.”など。だが、これはニューヨークでも同じ使い方をする。(ここでも、ニューヨークはライバル！)

Frisco: 地元の人には嫌う言い方。cooking oil みたい！

San Fran: 私たちはこの呼び方のほうが好き。

その他、S.F.や S.F.O.も空港、ビジネスで使う。因みに、Cisco (シスコ) は、会社名！

★My school daily life (Art school に通っていた頃)

6時半起床→窓を開けると、いつも曇り→シリアルとフルーツの朝食(アメリカでは朝食は外で食べる人が多い。だが、学生やビジネスマンはシンプルがベスト)→学校まで3kmのアップダウンの道を歩く→学校で窓を開ける頃には、天気は晴れ！→カフェでランチ(多くの屋外カフェがある。レストラン、カフェ、公園など公共の場ではすべて禁煙。アメリカではビルの中に喫煙室というものは存在しない。)

★Earthquakes

1906年にはマグニチュード7.7の大地震。市の90%が破壊されたと言われるが、素晴らしい復興を成し遂げた。1989年にもマグニチュード6.9の大地震。死



亡者は少なかったが、まともや大打撃を受けた。だが震災後、古いものは撤去され、以前の薄汚れた街から美しい街に変身し、私としてはとても嬉しい。



★最後に、サンフランシスコでお勧めは；

- ① China Town に行くなら、必ず Fork Test を！
- ② Asian Art Museum - statue 等、素晴らしい展示品が数多くある。
- ③ SFMoMA(San Francisco Museum of Modern Art) - アートに興味ある人は、是非！
- ④ Golden Gate Park - 幅 800m、長さ 3km に及ぶ広大な敷地。公園内には美術館や Japanese Tea Garden など多くの施設がある。

Q&A

*マリファナはサンフランシスコでは合法？⇒No. シアトルやポートランド（オレゴン州）では合法。

*“思い出のサンフランシスコ”の歌は好き？⇒No.私はその歌を知らない。

*Starbucks Coffeeは人気？シアトル設立だと聞いているが。⇒沢山ある。バークレーが拠点のPeet's Coffee&Teaも人気。

*先程ジーンズが“Piri-piri-piri…”やぶれる、と言ったが、これは英語の表現？⇒No.日本語だった。英語なら、“Ooohh rip…”。

*坂道が多いが、駐車する時、セカンドブレーキはする？⇒勿論。3重にする。ギアを①、ハンドブレーキを入れ、更にタイヤは上りの向きにしておく。

*Mural（壁画アート）について話してほしい。⇒古くはメキシコ時代からあり、1960年代に全盛期、今も盛ん。どんなビルにでも描いている。私の大学時代の先生も有名なmuralist。自分達の存在/メッセージを示すことができるので、重要な意味を持つ。

*市の西側でお薦めの場所は？⇒西側は主に居住地域だが、Haight-Ashburyは有名：1960年代のヒッピー発祥地、サマー・オブ・ラブ、ロック音楽…

*メキシコ料理は人気？⇒Yes.料理だけでなく、メキシコ文化は昔から根付いている。その他どんな国の料理も…ペルー、ケニア、ネパール、エチオピア等。



<歴史を感じるビクトリアンハウス>



<坂の傾斜は20度以上！>



<有名なロンバード通り>

その他、沢山の写真を見せてもらいました。Mattさん、いつもながらの楽しいお話をありがとうございました。最近凝っておられるというアイスクリーム作り、美味しいものができるようになるといいですね！近々来日予定のご両親やお祖母さん、ご兄弟の方々と楽しいひとときをお過ごしください。

注) 一部の写真は「ゆんフリー写真素材集」を使用